

# 街なみ環境整備方針

## 馬路地区

平成18年11月27日

(平成26年2月7日変更)

(平成29年3月17日変更)

高知県馬路村

街なみ環境整備方針説明書

都道府県		高知県	市町村名	馬路村	区域名	馬路地区
区域現況	区域の概況	対象地域は、馬路村の中心地であり、行政機関、農業協同組合、森林組合、保育所、小中学校、病院等がある。また、馬路村ふるさとセンター「まかいちよって家」、コミュニティセンターうまじ(馬路温泉)、「ゆずの森」があり、「にほんの里100選」に選ばれた相名地区、「朝日出山の杉」のある朝日出地区、 <b>中ノ川隧道の東川地区</b> が観光の中核を担う地区でもある。地域中央を流れる安田川を中心に街なみが形成されており、馬路村の自然(森・川)、生活(歴史・風習)、産業(農林業・観光業)が共生する地域である。				
	道路の現況	地域内の道路は、県道安田東洋線を除くと、幅員6m以下の村道や農道等が多く、歩道の整備等が課題である。地域の幹線道路は、主要なアクセス道として村民や観光客に利用されているが、構造等において修景整備は行われていない。				
	公園等の現況	地域内に自然(森・川等)とふれあう空間はあるが、公園は存在しない。				
	地区住民のまちづくり活動の概要	まちづくりへの村民参加の意識は強く、各種イベントなどボランティア活動や積極的な提言が行われている。近年は広葉樹を主とした植林活動や近自然工法など安田川の保全活動も行い、景観づくりに取り組んでいる。				
区域の整備に関する基本計画	整備の目標		歴史ある林業の村として、木を使った景観で統一し、良好な美観を形成することを目的とし、「木の里」まちづくり景観条例を制定している。具体的には、公共施設の木質化、木材を使った村道の整備を行い、併せて村内の住宅の外壁、車庫、垣根等の木質化等に対する助成制度を創設し、村民との一体化により日本の原風景の復活・維持をめざす。			
	整備の時期		平成18年度 ～ 平成30年度(12年間)			
	る地区施設等 基 本 の 整 備 に 関 す る 基 本 計 画	通路等	馬路村の玄関口から「ゆずの森」及びコミュニティセンターうまじ(馬路温泉)を経由し、相名地区を結ぶ道路は、本村の幹線道路であり、かつて、森林鉄道の軌道として利用されていた歴史的街道である。この道路を「森のロード(仮称)」とし、村のシンボルロードとし、この道路を中心に、村道ガードレールの木質化整備等を行う。			
		小公園等	「森のロード(仮称)」の沿道に、木と川とのふれあいが楽しめるポケットパーク等を設置し、村民や観光客(散策の休息)の憩いの場とする。			
		その他	散策案内、金林寺、魚梁瀬杉、森林鉄軌道後、安田川等の地域資源案内、柚子畑、鮎釣り、川遊び等の村の暮らし案内等の木製サインを設置し、地域がわかるやさしいまちづくりを行う。			
	す住宅等 基 本 の 整 備 に 関 す る 基 本 計 画	住宅	地域内の住宅の外壁、車庫、倉庫、垣根等の木質化等に対する助成制度を創設し、色彩や形態等意匠の統一を図るとともに、歴史ある「木の里」としての原風景(懐かしい景観づくり)の復活・維持をめざす。			
		敷地	屋外駐車場等のフェンス等の木質化を図る。			
その他の事項						

